

第420輯

わが町と原

みはら歴史と観光の会

平成3年3月創刊
月刊

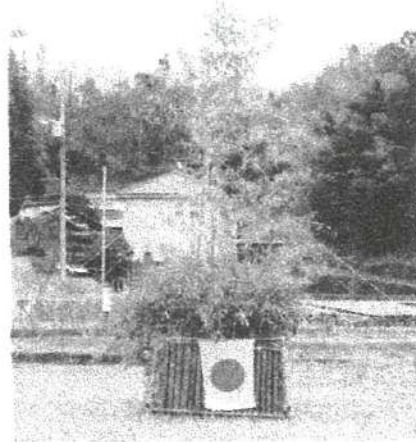
令和8年

3月号

受け継がれているとんどの伝統



【 1月20日 沼田東町七宝 】



【 1月21日 沼田西町小原 】

撮影 西村雅幸(沼田東町)

担い手不足等から、三原駅前の名物大とんどをはじめ、市中心部のとんどは年々姿が消えて行く近年ではあるが、写真の2箇所には立派に飾られていた。小正月に無病息災・家内安全・大願成就・商売繁盛・五穀豊穰等を祈って催されるというこの種伝統行事は、末永く継続して欲しいものである。

三 月 の 行 事	各 地	2月21日(土)～3月14日(土) 第4回本町お雛まつり 本町通り周辺
		01日(日) 10:00～ 湯立神事 沼田神社(沼田東町)
	会	21日(土)～22日(日) 能地春祭り「ふとんだんじり」(幸崎能地)
		28日(土) 勉強会 「三原志稿(3-3)」 実施要領は12頁に記載

P 1	表紙…表題：受け継がれているとんどの伝統	行事予告
	写真：1月20日沼田東町七宝、1月21日沼田西町小原	
2	思い出の須波	城町 山本 公恵
3~5	「春のハイキング」ご案内	沼田東町 西村 雅幸
6~11	資料から読みとる江戸時代の三原(2)	安田女子大学教授 島田 大助
12	会よりの便り	事務局



やよい
弥生



ひのえうま
丙午

AJ2686

令和八年

AD2026

今月の各地

むら くら。

まち まち

歳時記

思い出の須波

城町 山本 公恵

須波といえば、生涯忘れることのない友の顔が浮かんでくる。キヨカちゃんと呼ばれていた彼女との交流は、1946年(昭和21年)広島県立三原高等女学校に、共に入学した時から始まっていた。

彼女は、須波駅から列車通学をしていたのだが、その頃の須波町は、風光明媚な別荘地として発展していて、呉線の車窓から眺める、穏やかな須波の風景等の素晴らしさを自慢げに話して聞かせるのが常だった。その影響もあってか、夏休みに友だちと須波海水浴場へ出かけるのが、プールのない時代の一番の楽しみでもあった。現在の須波海岸は、海水浴場だけでなく、レストランも揃う海浜公園に発展し、三原市主催の婚活パーティの会場にもなっている。

突然の訃報だった。様々なボランティアに共に汗を流し、舞踊や箏曲の発表会では、同じ舞台に立ったこともある。高女時代の友達と、現在も開催している毎月の食事会も、毎年の旅行会も、まだまだ続いたであろう楽しい未来をも、コロナは永遠の別れを告げに来た。

昨秋、彼女と遊んだ思い出の場所、須波皇后八幡神社の秋祭りに参拝させて頂くことを思い付き、神職西原氏の奥様とは懇意にさせて頂いているので、スケジュール等を教えてもらい出発した。当日の9月27日(土)は良いお天気で、境内の遥拝所からの眺めは素晴らしく、約330km先の伊勢神宮を拝しながら、過ぎ去った日々を愛おしく振り返ることが出来た。陽が落ちて、篝火が焚かれ、神楽が始まると、厳かな気配が漂い始め、続いて、しの笛の演奏、獅子の奉納舞が披露され、最後の潮風太鼓の演技は、圧巻のシーンであった。

皇后八幡神社は、応永31年(1424年)創建。弘治元年(1555年)の「厳島の戦い」において勝利した小早川隆景が、出陣前、皇后八幡神社で戦勝祈願を行ったため、勝利の翌年、社殿再建のために寄進したとある。

神事は19時00分より始まり、神殿に上がらせていただき、厳かな気分に入りながら、只々手を合わせているうちに、20時00分頃には終わっていた。

「又、来ようね」もう追憶の中でしか聞けない友の声が聞こえて来た。

【お詫びと訂正】 先月号のこの歳時記欄上から21行目に誤字がありました。お詫びして訂正します。 (誤)「尊王」→(正)「尊皇」

レキカンだより

みはら歴史と観光の会

723-0051 三原市宮浦6丁目9-32

令和8年3月

検索

わが町三原

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンは新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行 事 報 告

- 01月27日 月報発送配布作業(奥川、大原、岡田、小川、川上、桑田、小森、
正田哲、瀬畑、高杵、西丸、西村、松竹、三好他)
- 02月02日 2月度理事会(年間行事計画、三原市の観光改善への提案他)

行 事 予 定

1. 勉強会 三原志稿(3-2)
 - (1) 日 時 3月28日(土) 10時～12時
 - (2) 会 場 サン・シープラザ3F 第2会議室
 - (3) 内 容 「三原志稿(3-3)」の輪読
2. 行事予定
 - 2.1 春のハイキング「佐木島ツアー」 **参加者募集!**
 - (1) 実施日 4月9日(木)
 - (2) 行先・参加費 本文に詳述されている内容で、当日払い
 - (3) 申込先 乗車・降車のバス停明記の上、事務局宛
 - (4) 申込締切 4月3日(金) 定員22名、先着順
 - 2.2 県史協 臨地研修…大崎上島会場行。先月のこの欄で、3月号で参加募集すると記載しましたが、開催要領が明確になった時点で募集。